

米国小型株サステナブルグロース・ファンド (愛称：ダイヤの原石)

11月以降は小型株が堅調 中長期ではハイクオリティ投資が有効と考える

2021年3月11日

👉 お伝えしたいポイント

- ・ 設定来で好調に推移。11月以降は小型株が上昇
- ・ 競争力が持続すると考える企業に投資。ビルドットコム の例
- ・ 運用方針：今後も持続的に成長を続けられる企業に投資

設定来で好調に推移。11月以降は小型株が上昇

■ バイデン政権、ワクチン承認、金利上昇などにより出遅れ株優位の展開

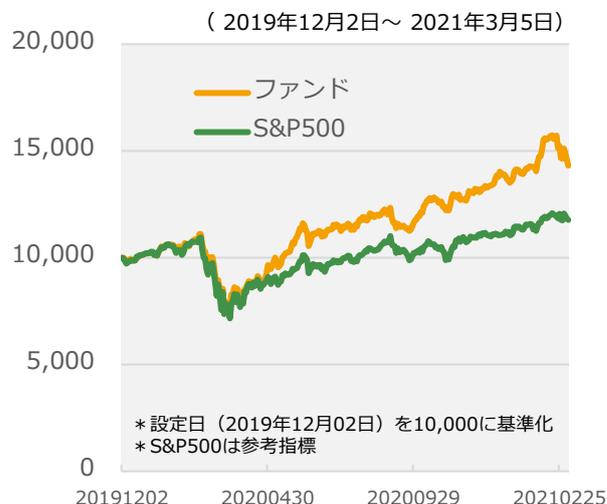
当ファンドは、S&P500と比較して設定来で好調に推移していますが、2020年11月以降では、小型株指数の上昇がファンドを上回っています。

11月は、大統領選挙を経てバイデン政策への期待が高まったことや、新型コロナウイルスのワクチン承認により景気回復期待が高まったことで、投資家のリスク許容度が高まりました。銘柄の善し悪しにかかわらず、出遅れていた銘柄が大きく上昇したことが指数をけん引しました。

また2021年2月以降、米国金利が上昇しています。金利上昇によって恩恵を受ける銀行株や、インフレ見通しにより素材・エネルギー株が上昇しています。一方、これまでパフォーマンスの良かった情報技術株などの上値が抑えられています。

小型株指数と比べると緩やかな上昇にとどまっていますが、クオリティ銘柄への投資についてもおおむね良好な成果を上げています。今後、徐々に銘柄の選別が進んでいくと考えており、そのような局面では、クオリティ投資がより効力を高めていくと考えています。

■ 設定来ではS&P500に対して好調に推移



■ 11月以降の騰落率。小型株指数の上昇目立つ



※小型株指数は Russell 2000 Growth

※全て円換算ベース

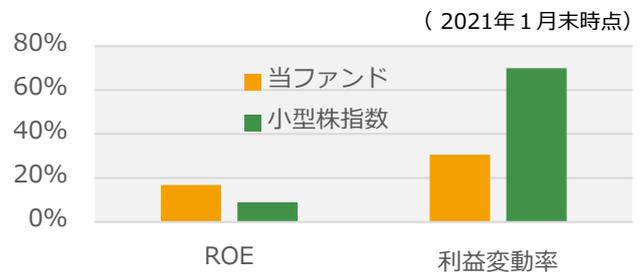
(出所) ブルームバーグ、大和アセット

低クオリティ銘柄も上昇。景気回復期待からあらゆる株が上昇している

当ファンドは成長企業の中でも、持続的に競争優位性をたもつ「ハイクオリティ企業」に投資しており、当ファンドはROE（自己資本利益率）が高く、利益変動率が低いという特性を持っています。

直近の小型株指数の急騰には、クオリティを伴っていない銘柄の上昇も多く含まれています。このような上昇が長く続くとは考えにくく、次第にクオリティ投資が有効になると考えています。

当ファンドはクオリティの高い企業に投資



※ROEは過去5年平均。
※利益変動率は過去10年平均

(出所)
ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

中長期ではハイクオリティ＝サステナブル・グロース投資が有効と考える

次第にハイクオリティ銘柄が優位になっていくと想定しています。過去においても、2003年、2010年などのように相場急落後の上昇局面で、ハイクオリティ銘柄への投資が苦戦する傾向がみられました。ただ、中長期でみるとそのような局面は少なく、ハイクオリティ企業への投資が有効だと考えています。

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス：小型株指数に劣後した時期もあるが、おおむね好調に推移



※小型株指数は Russell 2000 Growth

期間	類似戦略 (A)	小型株指数 (B)	超過リターン (A-B)	期間	類似戦略 (A)	小型株指数 (B)	超過リターン (A-B)	期間	類似戦略 (A)	小型株指数 (B)	超過リターン (A-B)
1998年	3.3%	1.2%	2.1%	2008年	-33.6%	-38.5%	4.9%	2018年	10.7%	-9.3%	20.0%
1999年	31.2%	43.1%	-11.9%	2009年	38.5%	34.5%	4.1%	2019年	41.4%	28.5%	12.9%
2000年	6.3%	-22.4%	28.7%	2010年	14.8%	29.1%	-14.3%	2020年	45.0%	34.6%	10.3%
2001年	0.5%	-9.2%	9.7%	2011年	17.8%	-2.9%	20.7%				
2002年	-23.8%	-30.3%	6.4%	2012年	13.3%	14.6%	-1.3%				
2003年	38.4%	48.5%	-10.1%	2013年	39.9%	43.3%	-3.4%				
2004年	12.8%	14.3%	-1.5%	2014年	6.5%	5.6%	0.9%				
2005年	1.9%	4.2%	-2.3%	2015年	2.5%	-1.4%	3.9%				
2006年	15.8%	13.3%	2.5%	2016年	26.1%	11.3%	14.8%				
2007年	-0.6%	7.0%	-7.6%	2017年	39.0%	22.2%	16.8%				

出所:eVestment、Bloomberg。
※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの詳細の成果を示唆・保証するものではありません。
※類似戦略はコンポジットの月次リターンに基づく数値（米ドルベース・運用報酬控除前）
※計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

競争力が持続すると考える企業に投資

ケイン社の投資するハイクオリティ企業には以下のような特徴があります。



左上のポイントを満たすような成長を「サステナブルグロース（持続可能な成長）」と考えています。一方で、成長期待のある企業でも、景気変動を受けやすい企業（エネルギーや金融）や、市場拡大の期待はあっても、そこで本当に成長できるかどうか不確実な企業（新エネルギーやバイオベンチャー）などへの投資は避ける傾向にあります。

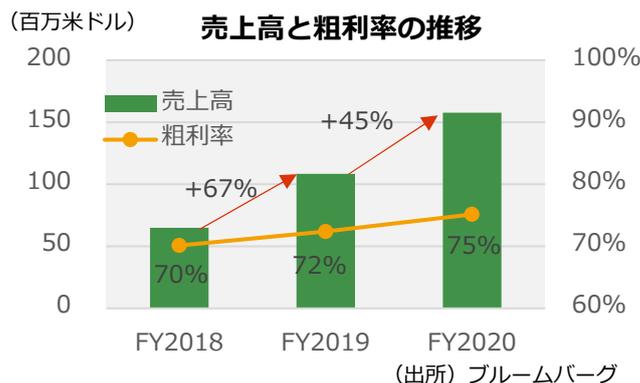
投資事例：ビルドットコム 企業間決済のSaaS（ソフトウェア・アズ・ア・サービス）

企業間取引における、請求書や領収書の承認と処理作業は煩雑です。ビルドットコムはそれを電子化し、クラウド上で利用可能にした企業です。それまでの紙やエクセル、メールでの作業が、同社のソフト上での処理でほぼ完結し、会計ソフトや銀行決済との連携までも可能になります。

会社はR&D（研究開発）支出などにより赤字です。しかし決済に関連する企業は一度採用されると置き換えにくいいため、先行投資が必須です。また、資本集約的な事業ではないので、成熟期に入れば高い利益、資本効率を上げると期待できます。

ビジネスの変動	決済需要の変動は小さい。○
資本効率の高い企業	シェア拡大投資のため赤字。ただ粗利は70%超。黒字化したら高くなる△
競争優位性が続く	決済のシステムは置き換えが難しい。同社はクラウドで先行している。○
成長の確度	既存市場の置き換えのため高い。同社は、潜在的需要を米国内で90億ドル、世界で300億ドルと予想しており成長余地は大きい。○

ビルドットコム



運用方針：今後も持続的に成長を続けられる企業に投資

FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融緩和策の継続、新型コロナウイルスワクチンの接種拡大や大型経済対策などが株式市場の支援材料になり、堅調な相場展開が持続すると考えています。一方、景気回復やインフレ上昇観測が金利上昇をもたらしております。これにより足元は金融セクターなどのパフォーマンスが好調に推移しています。しかし、そのような環境においても当ファンドにおける運用は変わりません。当ファンドにおいては、いかなる相場環境においても、持続的に競争優位性を保持できる「ハイクオリティ企業」を探すことに注力しています。

十分強固な財務体質を有する企業、自ら創出するキャッシュフローで成長投資を行うことができる企業、独自のビジネスモデルで高い利益率を実現できる企業は、株式市場の上昇局面、下落局面いずれの状況においても、競争優位性を持つと考えます。また、小型株市場は情報が効率的でないため、リサーチによる収益獲得の機会が高いと考えています。長期的な視点で、マクロ経済の状況にかかわらず、競争優位性により成長していける銘柄の発掘に引き続き注力してまいります。

■ 基準価額・純資産の推移（2021年3月9日現在）

基準価額	12,624 円
純資産総額	137億円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

米国の小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- 米国の小型株式等の中から競争優位性があり、高い利益率を長期にわたり維持できる企業を厳選し投資します。
 (注1)「米国の小型株式」とは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式のうち、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが、時価総額をもとに小型と判断した銘柄を指します。
 ※「株式」にはDR(預託証券)、「上場」には上場予定、「店頭登録」には店頭登録予定をそれぞれ含みます。
 (注2)一部、小型株式に該当しない銘柄に投資します。
 ◆ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。
 ①定量的スクリーニングや業界分析等を通じて、調査対象銘柄を選定します。
 ②調査対象銘柄に対して徹底的なファンダメンタルズ分析を行ない、企業の持つ競争優位性や経営陣の評価、資本効率等を考慮して投資候補銘柄を選定します。
 ③業種分散、銘柄分散を考慮して、ポートフォリオを構築します。
- 米国の小型株式等の運用は、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが行ないます。
 ◆外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 マザーファンドは、「米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド」です。
 ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「中小型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.958% (税抜 1.78%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

米国小型株サステナブルグロース・ファンド（愛称：ダイヤの原石） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。